

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 信和会
施設名	キッズハウス池尻大橋
報告者（役職）	丹藤 るみ子 （ 園長 ）
住所・連絡先	東京都目黒区大橋二丁目3番5号
	☎ 03-6407-0460
	E-mail kidshouse@net-pier.com

○タイトル（保育計画）

絵本タイムプロジェクト

○主な助成備品

絵本棚・絵本・大型絵本・図鑑

1. 保育計画策定の目的

開園3年目となる目黒区私立認可保育園です。待機児童対策として、園児数を27年11月に42名から90名に増員しています。保育施設は山手通りに面しているビル内にあり保育室が1階・2階、事務所は4階にあります。春には桜が満開になる目黒川緑道が散歩コースにもなっていて四季折々を感じられる環境にあります。保育内容については、子どもたちが興味・関心を持ち好きなことを見つけ、日々の生活の中で継続ができることを大切に保育環境作りなど工夫しています。子どもは絵本や調べることが大好きですが、絵本、図鑑の数が少なく絵本コーナーも見直しが必要でした。図書館スペースを設けることにより、子どもたちの生活が潤い充実することや絵本を通じての、かけがえのない人との関わりや温かい思い出が成長過程で柔らかく心に刻まれ、次世代に大好きな一冊が繋がっていくことを願い、絵本タイムプロジェクトを下記の通り計画策定しました。

- ①保育園全体で【絵本を楽しもう】をキャッチコピーにし、子ども・保護者・保育士がいろんな絵本と出会うことを大切にします。
- ②絵本タイムを通じて、絵本が子どもたちにとって身近な存在になり楽しめるように、環境設定の整備、工夫を心掛けます。
- ③絵本、図鑑の貸し出しを行い、保護者の方へ発達にあった絵本や子どもが親しんでいる絵本を紹介し、家庭との繋がりを深めます。保護者の方も一緒に絵本選びや読むことを楽しめるようにします。
- ④大型絵本作りに楽しんで挑戦します。子どもたちの興味や、やってみたい気持ちに合わせてながら創造性や発想を大切に制作します。

2. 具体的な実施内容

2階、4・5歳児保育室の広いスペースに絵本コーナーを設け、全クラスの子どもと職員が気軽に行き来できるようにしました。目的として保育園全体で使用するにより、他クラスとの関わり・触れ合い・コミュニケーションが持て、クラスを超えた関係性が自然に築かれることを大切にしました。

1階に乳児クラス、延長保育児用に絵本棚を設置したことで自由に絵本を選び読みたり、保育士の膝で読んでもらったりを楽しめるようにしました。自由に楽しむ時間とは別に、どのクラスも食後から午睡時間までを絵本タイムに設定し、選ぶ楽しみ・読む楽しみ・読んであげる楽しみを感じられるようにしました。

絵本が好きになったことで保育活動・行事などでも、絵本が題材になり0歳児から5歳児までの発達と繋がりのある保育活動を大切にしました。

絵本貸し出しを実施しました。親子の絵本選びや親子同士や職員とのコミュニケーションが増え、子どもたちの安心感、表現力、感性、感受性など豊かな心が育まれています。

5歳児クラスは遊びの中からお話作りを楽しむようになり、ストーリー作りから行い、絵を描き、色付けまで担任と協力して大型絵本作りに挑戦しました。

キッズハウスに図書館ができたよ
ありがたいの気持ちがいっぱいでした



絵本ってたのしいね
調べるってたのしいね



絵本の貸し出しは1回2冊まで
夕方の絵本棚の前が賑やかに



12月の生活発表会は全クラスが絵本の演目になりました

0歳児クラス「へんなかお」



3歳児「てぶくろ」



5歳児絵本作り タイトルはゆきとくとねこ



1歳児クラス「どうぶつたちのかくれんぼ」



4・5歳児クラス「ももたろう」



2歳児「ねずみくんのチョコッキ」



あるひ、いえのちかくで
ダンボールにはいったねこ
をみつけたゆきとくん・・・



3. その成果と評価

絵本棚と絵本が子どもたちに届いた日「図書館みたい」と嬉しさをワイワイ大騒ぎになり絵本の世界と魅力に心が動いた瞬間でした。登園すると棚から絵本選びが始まり、どんな絵本があるかじっくりと見てから絵本を読んでいます。一人で静かに読む子どももいれば、保育士に読んでもらったり、友だち同士で読んでいたり、絵本を通じてのコミュニケーションが増え、どのクラスも朝夕の時間がとても落ち着くようになりました。好きな絵本を選び読むことで、思いが満たされ集中力もついたように思います。午睡前の絵本タイムも同じですが、絵本に触れる機会が増えたことにより、言葉の幅も広がり入眠も落ち着きました。

「この本お母さんといつも読んでいるの」と絵本を大事に胸に抱える子どもがいました。同じ絵本に出会い、お母さんとの絵本の時間を思い出したのでしょうか。保育園で絵本に親しむようになってから、家庭でも本を読むことが習慣になってきたようです。絵本貸出日の木曜日は、絵本棚の前で親子が絵本を選ぶ姿が多く、楽しみになっているのを感じます。絵本棚が半数ぐらいに減ってしまうほど、絵本が大好きになり成果を感じています。

乳児クラスは好きな絵本の言葉を、繰り返し遊びの中で楽しんでいる姿が見られ表現豊かになりました。幼児クラスは、自然に文字への興味・関心、表現や創造力が広がり、お話作りを楽しむようになり、3月には5歳児クラスが、世界にひとつしかない大型絵本を完成することができました。

12月の生活発表会はこのクラスも絵本を題材にした演目を発表。生活から積み重なった絵本って楽しいという思いが、子どもたちの育ちにたくさんの栄養を運んでくれました。

4. 今後の課題と展望

絵本大好きな芽を大切に育てながら、子どもたちが愛情と安心感の中で大人になり、人を思い・人を大事に思う心が繋がっていけるように、今後も子どもたちが読みたい絵本・保育士が読んであげたい絵本・保護者のための本も継続して選び、充実させていきたいとします。何年後の絵本図書館が楽しみです。

以上